

LAMP2013-The 6th International Congress on Laser Advanced Materials Processing

第6回レーザ先端材料加工国際会議

レーザ加工学会
大阪大学 接合科学研究所
教授 片山聖二
(平成 24 年度国際会議等開催準備助成 AF-2012217)

キーワード：レーザ，マイクロ加工，マクロ加工

1. 開催日時

平成 25 年 7 月 23 日(火)～平成 25 年 7 月 26 日(金)

2. 開催場所

朱鷺メッセ：新潟コンベンションセンター
〒950-0078 新潟市中央区万代島 6-1

3. 国際会議報告¹⁾

レーザ先端材料加工国際会議 (LAMP)はレーザ加工学会 (JLPS), 理化学研究所 (RIKEN), 産業技術総合研究所 (AIST) 主催の会議であり, 過去に大阪, 京都, 神戸などでも開催された. 今回は第 6 回目として 2013 年 7 月 23 日から 7 月 26 日にかけて, 新潟市の国際展示場にて開催した. 会議はマイクロ加工を中心とした LPM (The 14th International Symposium on Laser Precision Microfabrication), およびマクロ加工を中心とした HPL (The 6th International Symposium on High Power Laser Processing) の 2 部門から構成されている. 会議初日のプレナリーセッションの講演 3 件, ポスター発表のショートプレゼンテーションおよび最終日のジョイントセッション 5 件を除き, 4 パラレルセッションで開催されるとともに, 中 2 日の昼食時には, ポスターセッションも行った. 予稿集ベースで, 201 件の口頭発表 (プレナリー講演 3 件, 招待講演 33 件, 一般講演 168 件), 33 件のポスター発表の合計 237 件の研究発表から構成されるプログラムを構成できた.

講演発表の件数内訳はプレナリーセッション 3 件, LPM セッション 148 (招待講演 20 件を含む), HPL セッション 44 件 (招待講演 6 件を含む), ジョイントセッション 9 件 (招待講演 7 件を含む), LPM ポスターセッション 23 件, HPL ポスターセッション 10 件であり, 合計 237 件中, 81 件が日本からの発表, 残りの 156 件が海外 25 カ国からの参加者による発表である. 講演件数の国別内訳を表 1 に示す. 海外からの講演ではドイツが 49 件と最も多く, フランス, 中国, 韓国がともに 14 件, アメリカ 11 件, リトアニア, 台湾がともに 10 件と続き, それ以外は主にヨーロッパ諸国からであった. 中国, 韓国をはじめとするアジア諸国からの講演も多く, レーザ加

表 1 国別発表件数

国名	件数	国名	件数
日本	81	フィンランド	2
ドイツ	49	カナダ	2
フランス	14	ギリシャ	1
中国	14	スイス	1
韓国	14	ベルギー	1
アメリカ	11	オーストリア	1
リトアニア	10	イタリア	1
台湾	10	スコットランド	1
スペイン	5	スウェーデン	1
ロシア	5	シンガポール	1
ハンガリー	4	オーストラリア	1
イギリス	3	バングラデッシュ	1
オランダ	3	合計	237

工技術が確実に我が国の近隣にも普及している.

会議参加者は 337 名であり, うち海外からの参加者は約半数の 167 名であった. 日本におけるレーザ加工の国際会議としては最大級のものであると評価される.

本会議は, レーザ加工野において基礎研究者, エンドユーザー, レーザマニファクチャラーが一堂に会し, レーザ材料相互作用の基礎科学からレーザ加工技術の現状, 次世代のレーザ加工のトピックスまで幅広く議論できる数少ない国際会議であり, 非常に有意義のものであった. 今回の会議を通して, レーザ加工を支える科学基盤を確立することはもとより, レーザ加工技術の実用化を制限する要因, それを克服するために必要な将来技術, 将来市場の予測などが明確になり, 社会的にも有益な成果を挙げることができたものと確信している.

謝辞

本会議を開催するにあたって, 公益財団法人天田財団より国際会議等開催準備助成を賜りました. ここに篤く御礼申し上げます.

参考文献

- 1) Congress Program and Technical Digest of LAMP2013, (2013) in Niigata.